

2011年4月12日

報道関係各位

特定非営利活動法人
日本慢性疾患セルフマネジメント協会

**患者さんによる自己管理のための新しいアプローチ
「慢性疾患セルフマネジメントプログラム」
患者さんの体験談を充実させてウェブサイトを更新**

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会(東京都港区、理事長:伊藤雅治、以下「日本CDSM協会」)では、慢性疾患をもつ人の自己管理を促すための患者教育プログラム「慢性疾患セルフマネジメントプログラム」(以下「CDSMP」:Chronic Disease Self-Management Program)の普及・広報活動を促進するため、ウェブサイト(<http://www.j-cdsm.org>)のデザインを一新し、2011年4月12日(火)にリニューアルオープンいたしました。

今回のリニューアルでは、幅広い年齢層の方たちに親しみを持って頂けるようなデザインに一新するとともに、アクセスした方がCDSMPワークショップに関する知りたい情報を見つけやすいサイトへと改良いたしました。また、これまで協会ホームページになかったワークショップ参加者の体験談を掲載することで、プログラムに興味を持った方のワークショップへの理解をさらに深め、参加を促進することにも主眼を置いています。今回のリニューアルのポイントならびにサイトの概要は以下のとおりです。

【主なリニューアルのポイント】

- はじめてサイトを訪れた幅広い層の方たちにも親しみの持てるデザインへの一新
- 必要な情報へ簡単に到達できるアクセシビリティの向上
- 新コンテンツの掲載
(ワークショップ参加者体験談、リーダーからのコメント(顔写真付き)、ワークショップ参加者の疾患名一覧、ほか)

【ウェブサイト概要】

1. URL: <http://www.j-cdsm.org> (現行どおり)
2. 掲載内容: 1)お知らせ
2)セルフマネジメントプログラムについて

- 3) どうやって参加するの? (ワークショップについて)
- 4) 体験談 (患者の声、家族の声、医療者の声)
- 5) セルフマネジメント協会について
- 6) Q&A

<トップページ>

特定非営利活動法人

日本慢性疾患セルフマネジメント協会

Japan Chronic Disease Self-Management Association

文字サイズ

この内訳書

自分らしく病気と付き合う

はじめよう！セルフマネジメント

- HOME
- お知らせ
- セルフマネジメントプログラムについて
- どうやって参加するの? (ワークショップについて)
- 体験談
- セルフマネジメント協会について
- Q&A

メールマガジン
読者募集集中!

賛助会員・寄付募集!!

最新のお知らせ

2011.3.14 日本全国患者への対応について

2011.2.28 ワークショップの参加者無形配布終了のお知らせ

イベントレポート

2010.9.1 7/24と8/1に、熊本と東京でリーダーフォローアップ研究会を開催しました

2010.9.1 7/25に、熊本県で講演会を行いました

セルフマネジメントプログラムについて

病気をもちながら生活していると、つい人と自分を比べてしまい、できないことやめをためたことばかり目についてしまうことがあります。

慢性疾患セルフマネジメントプログラムは、様々な病気の人たちで集まり、当行役な病気をもち人がつとめ、病気と折り合いをつけながら楽しく生活していくにはどうすればよいのかを学んでいくプログラムです。私たちがいっしょに、病気があって生きていくこと、やりたいことを実現してみませんか?

体験談

患者の声	家族の声	医療関係者の声
認知症の中で「病気をもちていること」で悩んでいる。もう少しわが家になんてなあれ...	母が認知症になる前に、必要な準備を徹底的に行動して置くようアドバイスすることになった...	私たちはいつも医療従事者として皆さんの悩みを抱えています。ワークショップでは...

ワークショップ申込み

- ・【福岡県福岡市】2011年7月3日(日)～3月7日(日)
- ・【兵庫県神戸市】2011年5月28日(土)～7月2日(土)
- ・【熊本県熊本市】2011年5月21日(土)～6月25日(土)
- ・【東京都中央区】2011年5月15日～6月19日
- ・【東京都港区】2011年4月16日(土)～5月18日(土)

リーダー研修申込み募集!

リーダー研修についてののご案内

当協会は下記団体より助成金をいただいております。

- ・メトロニコロ財団
- ・財団法人 木口ひらご福祉財団

HOME | プライバシーポリシー | サイトマップ | リンク集 | お問い合わせ

掲載されている画像・コンテンツの無断転載を禁じます
 Copyright (C) Japan Chronic Disease Self-Management Association. All Rights Reserved.

●体験談の紹介

ホームページに掲載されているワークショップ受講者の体験談を抜粋し、下記の通りご紹介いたします。尚、ホームページ上では、体験談を頂くごとに更新されていきます。

【患者の声】

- 今までは医者との関わり方が下手で、こちらの症状等を思うように話せませんでしたが、ワークショップで習った方法ならなんとかなるのではないかと思い、先日受診の際、薬のことで早速試してみました。先生がこちらの言い分を聞いてくれました。また、3か所の病院にかかっていますが、投薬が院外処方にて、3か所からもらっていたのを1か所にまとめました。これも学習の結果です。 <70代男性 パーキンソン病>
- 自分の病気と向き合う気持ちになりました。それも少しの距離をおいて自分をみつめられるようになってきました。病気をもちながら生きていくことに自信を持てる気がします。 <50代女性 1型糖尿病>

【家族の声】

- 病気をもつ娘が不憫という気持ちが強くて、それに縛られていたのですが、娘ばかりでなく色々な人も病気を持ち、自ら頑張っているのを知り、娘ばかり特別扱いしなくて良いと思った。 <50代女性 家族>

【医療者の声】

- 私の外来でも、多くの患者さんがワークショップに参加されていますが、参加後に、ご自身の医療に対して積極的な姿勢に変わっていくのが実感できます。患者さんが納得し、心から満足できる治療を受けるために、セルフマネジメントの果たす役割は大きいと思います。 <熊本リウマチ内科(熊本市)院長 坂田研明(膠原病リウマチ内科)>

●特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会について

CDSMP は、世界20 カ国以上で取り入れられています。特にイギリスでは国家政策として NHS(National Health Service)が導入しています。CDSMP の特色には、行動目標として「自分のやりたいこと」を考えるとということ、患者同士で学びあう「ピア・エデュケーション」の手法であること、進行役(リーダー)がマニュアルに沿って進行することによりプログラムの質が担保されていることがあります。

日本CDSM 協会は2005 年の設立以来、全国14 都道府県で、109 回のCDSMP ワークショップを開催し、1000 名以上の方が受講しています(2011年3 月末日現在)。CDSMP ヘルスアウトカム研究成果をもとに、より多くの慢性疾患患者のエンパワーメントの支援となるよう、今後も様々な機関のご協力をいただきながら、プログラムの普及をめざしてまいります。

●ごあいさつ

特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会
理事長 伊藤雅治

今の日本の医療制度の大枠は、結核や感染症中心の「治癒する病気」に対処することが主流だった昭和20年代前半に、「医師が患者の病気を治す」という視点で作られたものです。日本の疾病構造が変わり、治すことができない慢性疾患が主流を占めるようになってきた今、医師が患者に指示して治療を提供するというだけでは限界があり、医療の提供体制も変化が必要と思われます。病気とともに長い年月を生きていく慢性疾患では、医療の主体は患者にあります。

「慢性疾患セルフマネジメントプログラム」は、慢性疾患をもつ患者さんのニーズに応える形で開発された、患者同士で学びあえる教育プログラムです。2009年に報告された東京大学大学院 医学系研究科 健康社会学/健康教育・社会学教室(主任 山崎喜比古准教授)によるヘルスアウトカム研究の中間報告の結果からも、日本においても本プログラムが大きな可能性があることが明らかになりました。本プログラムは、治療効果を高め、患者の生活の質(QOL)向上のみならず、医療財源の適正化にも大きく貢献するものと固く信じています。真に患者のためとなる医療を実現するためにも、医療の最大の担い手である患者を支援する仕組みを作りたいと考えております。

***** 本件に関するお問合せ先 *****

特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会
事務局 武田、千脇、田口

Tel. 03-5449-2317 Fax. 03-5449-2362

URL: <http://www.j-cdsm.org> E-mail: info@j-cdsm.org